平成 21 年４月 30 日

各　　位

会　社　名　山加電業株式会社
代表者氏名　取締役社長　　煙山利廣
（ＪＡＳＤＡＱ・コード１７８９）
問合せ先　取締役管理本部長　田代　弘樹
電話 03-5286-7221

平成 21 年９月期第２四半期累計期間（連結･個別）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年４月 20 日に公表した平成 21 年９月期（平成 20 年 10 月１日～平成 21 年９月 30 日）の第２四半期累計期間業績予想（平成 20 年 10 月１日～平成 21 年３月 31 日）と、本日公表の平成 21 年９月期の第２四半期決算短信の実績に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

記

１．平成 21 年９月期第２四半期累計期間業績予想との差異(平成 20 年 10 月１日～平成 21 年３月 31 日)

(1)業績予想との差異

①連結業績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	1,641	50	72	△1	△0.16
実績値（B）	1,642	50	37	△37	△5.81
増減額（B－A）	1	0	△35	△36	－
増減率（%）	0.1	0	△48.6	－	－
（ご参考）前期実績(平成 20 年９月期第２四半期)	2,200	120	139	91	14.40

②個別業績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	1,581	50	43	△29	△4.55
実績値（B）	1,581	50	42	△42	△6.59
増減額（B－A）	0	0	△1	△12	－
増減率（%）	0	0	△2.3	－	－
（ご参考）前期実績(平成 20 年９月期第２四半期)	2,166	124	148	100	15.86

(2)差異の生じた理由について

①　連結業績

当社の関連会社である持分法会計基準の適用会社が３月期末決算を受け、今般数値確定に至りました。平成 21 年４月 20 日開示の業績予想修正で案内をしていた数値に対し、同持分法適用会社につきまして新たに差異が生じましたので修正を行います。

当社は業績予想の修正の要否を判断するため、当社のグループ会社等に情報収集を行い準備を

進めてまいりましたが、同持分法適用会社の決算値は個別工事の進捗の都合上４月末端まで固められない状況を受け、同持分法適用会社における過去の実績値の等価按分による平均値に個別工事件名の状況を考慮し算出した数値を元に、平成 20 年４月 20 日に業績予想の修正を行いました。その後本日、同持分法適用会社で大型件名の調査工事における予想以上の大幅赤字件名が含まれました結果、平成 21 年３月期におきまして平成 20 年９月末の利益剰余金の 70%余りを取崩した上に、工事損失引当金 20 百万円を追加計上しなければならない状況が判明するに至りました。

同持分法適用会社では平成 20 年９月末において当社分の繰越利益余剰金が 29 百万円だった為、平成 21 年４月 20 日時点では 15 百万円は利益を積上ると予想をしていましたが、同持分法適用会社において上記理由のとおり大幅赤字件名が含まれました結果、利益剰余金が 29 百万円から 9 百万円に減少し、20 百万円の損失となりました。

当社での当初予想の持分法における投資利益は 30 百万円でしたが、今回の修正により 5 百万円の持分法における投資損失に変更される事となり、経常利益の予想値が当初の予想より 35 百万円減少いたしました。

② 個別業績

特別損失におきまして長期貸付金の回収可能性を検討した結果、新たに 12 百万円の貸倒引当金繰入額を計上する事となりました。

２．通期の連結・個別業績予想について

下期においては、現時点における繰越工事の状況から、売上高、利益面について前回発表の予想通りに推移するものと考えております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的と判断する一定の条件に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素等の要因が含まれております。実際の業績は、今後、様々な要因によりこれら業績予想とは異なる結果となる可能性があります。